

令和5年度事業計画

当財団では、「地域の人々が活気溢れる社会、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現」という目的のもと、文化芸術に関する各種事業を積極的に推進することにより県民文化の育成と振興を図り、そして県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動支援、人と人の交流、地域の活性化を図ってきました。

近年、地域・社会が大きく変容し、文化芸術が地域及び社会における課題を解決する処方箋として社会的効用を發揮するという新たな重要性も増している中で、公立文化施設（劇場・音楽堂）が果たすべき役割は、ますます重要になっています。とりわけ、新型コロナウイルスは、現在も日常生活や催事等に多くの影響を及ぼしていますが、この新型コロナ禍においてリアルな文化芸術のもつ大きな効用が改めて認識されたことは、文化芸術に携わるものにとって大きな道標となるものであり、万全の感染防止対策を行いながら地域に文化芸術を届けていくことが重要です。

当財団は、改めて公立文化施設（劇場・音楽堂）の役割である「文化芸術の振興」「地域の文化振興」「地域の活性化」「シティセールス」を再認識し、その機能を十分に發揮するよう各種事業を展開していきます。

管理運営の基本的な考え方

当財団は、県民文化会館（平成5年開館）及び倉吉未来中心（平成13年開館）の適切かつ効率的な管理運営と併せて、さまざまな文化芸術事業を行い、県民の皆様へ文化芸術分野における公共サービスを提供してきました。この29年間に蓄積された経験やノウハウを十全に發揮するとともに、専門的技術に裏打ちされた文化芸術のプロ集団が管理運営を行う強みを最大限に活かすため、県民文化会館及び倉吉未来中心は「地域（広域）拠点型劇場」を目指します。実演芸術という「心のワクチン」を、「ライブ・アート・プロジェクト」という心震わす力強い大きな波に乗せて、確実に各地域に届けるため、令和4年9月に策定した「財団の6つのミッション」を実現すべく各種取組を実践します。

加えて、同時に策定した「施設の3つのミッション」の達成を目指して施設の運営を進めるとともに、「利用者・来館者の視点に立った質の高いサービス」を提供し、「安心・安全・公平」な施設運営を行います。

財団の6つのミッション

①優れた実演芸術の鑑賞の場を提供

⇒全国トップクラスの機能を備えた劇場を活用し、国内外の優れた実演芸術を鑑賞する場を幅広く提供します。

②県内外に実演芸術を創造・発信

⇒新たに実演芸術作品をプロデュースし、県内外に発信します。...

③実演芸術のすそ野を拡大

⇒次世代及び潜在的観客層への普及教育を図り、実演芸術に親しむ観客の拡大を図ります。

④地域全体の文化芸術力を向上

⇒市町村・市町村劇場や地域の実演家・団体と連携し、地域全体の文化芸術力の向上を図ります。

⑤地域の課題に対処

⇒実演芸術の力を活用し、社会的課題の解決に取り組みます。...

⑥劇場・音楽堂への支援

⇒市町村劇場とのネットワークを強化し、継続的な活動と劇場関係者を支えます。...

①とどける

②つくる

③ひろげる

④つなげる

⑤こたえる

⑥ささえる

施設の3つのミッション

① 県民に愛され、誇りとなる劇場づくり

実演芸術に関わる鑑賞、学習、参加、創造など多彩なプログラムを企画し、多様な事業が相互に作用することで多目的に人が集い賑わう劇場、そして「県民文化会館があってよかった」「倉吉未来中心があって誇らしい」と多くの県民に言っただけ、愛され、誇りとなる劇場を目指します

⇒「個別・個人の体験」から「共有できる思い出づくり」へ、そして「呼吸をしている劇場へ」

② 拠点機能の強化

県立施設の重要ミッションとして、第一に、市町村劇場や多様な文化の担い手のリーディング劇場となることを目指します。

第二に、ゾーン全体が求心力を持つことで、東西に長い鳥取県のどこからでも訪れたいゾーンづくりを目指します。そのためにも市町村・市町村劇場との更なる連携に努め、これまで以上にアウトリーチを展開し、財団が地域と実演芸術でつながることにより、身近に実演芸術の花を咲かせることを目指します。

⇒「こっちに来て」から「そっちに行く」へ、そして「創客（顧客の創造）」へ

③ アートの社会的効用の発揮

劇場法の条文にも規定されているように、地域コミュニティの創造と再生が劇場機能に求められています。

「for ART（アートのため）」の事業だけでなく「by ART（アートによる）」事業も、すなわちアートが手段となり社会的効用を発揮する事業への社会的要請が高まっています。教育、福祉、観光、経済など、アートの持つ力で様々な分野の地域課題に積極的に取り組みます。

⇒「近い人」から「遠い人」へ、そして「共感と信頼」へ

管理運営業務の基本方針

文化芸術の地域（広域）拠点型劇場として、利用者の安心・安全・公平な利用機会の確保を基本とし、そのための対応として重点項目を設定し、実践します。

《重点項目》 ア 利用者・来館者の安心・安全 イ 利用者（県民）目線 ウ 法令の遵守 エ 効率的な施設運営

文化芸術事業に関する取組

ARTS FOR EVERYONE ~アートでつながる 心うるおう 未来のために~ 「とっとりひと・まち元気！ ライブ・アート・プロジェクト」

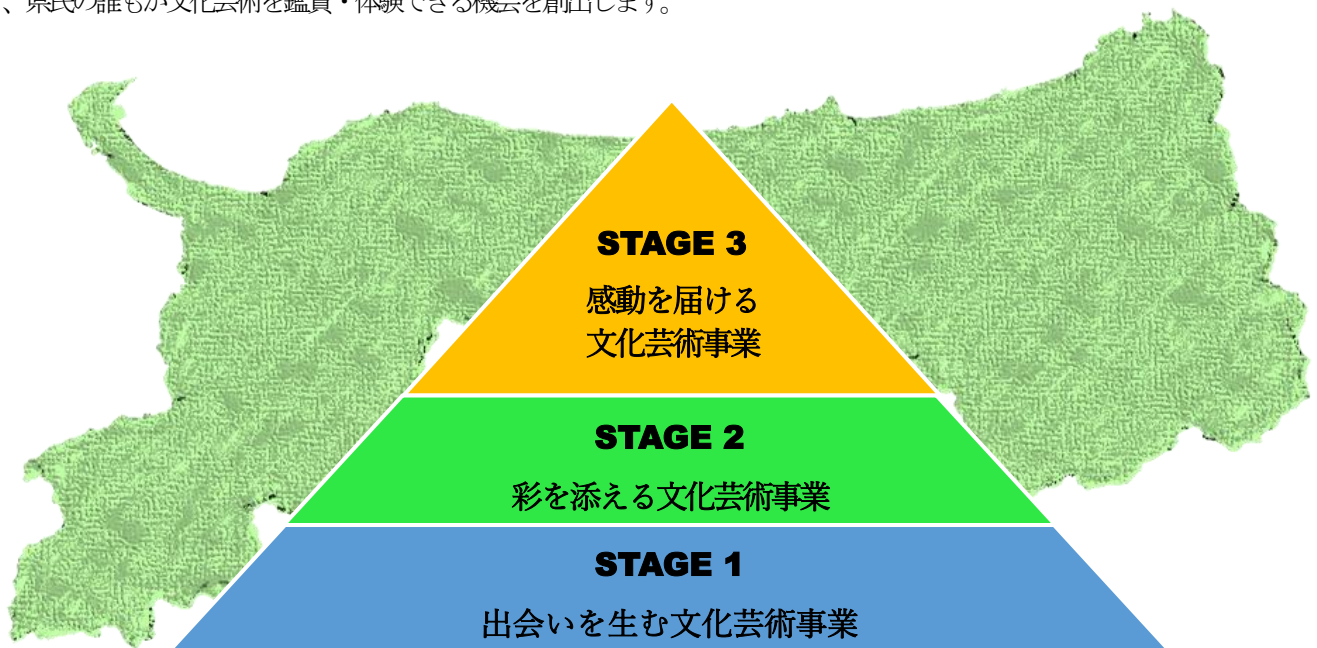
鳥取という地域をステージに、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、
会館から地域へ、そして、全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、
アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、
人々が絆を形成するための環境づくりを目指します。

文化芸術が持つ3つの価値（基本的価値、社会的価値、経済的価値）を踏まえ、とりわけ、実演芸術を基軸に置いた「ひと」と「まち」の創造・創出という公共性・効用性を最大限発揮し、「文化芸術が日常生活の一部」となるよう、財団スローガンである「ARTS FOR EVERYONE ~アートでつながる 心うるおう 未来のために~」をもとに、最重点の取組施策として『ライブ・アート・プロジェクト』を発動します。これは、鳥取という地域をステージにアウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、会館から地域へ、そして全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを目指して「とっとりひと・まち元気！ ライブ・アート・プロジェクト」を始動しています。これは実演芸術でしか体験できない「リアルな感動」を通して、文化芸術が持つ基本的価値を地域に届け、地域アイデンティティとして地域の活性化を目指すものです。地域によって商習慣、文化資産、行動習慣が異なることから、それぞれの地域性を踏まえて「トライ&エラー」と「スクラップ&ビルド」で事業を企画・立案・実施するとともに、1事業（プログラム）は企業（店舗）の1商品と同じであるとの認識のもと、社会的成果（アウトカム）に向けた全事業プログラム（＝事業戦略）を構築することが必要です。ミッションの達成を考える上での事業分野で特に考慮すべきポイントは、「事業のブランド化からホールのブランド化へ」「非日常から発見、楽しみを得るホールへの進化」の2つです。このポイントを踏まえた事業分野におけるビジョンを設定すると、次のとおりです。

- ① 実演芸術のプレゼンスを高める劇場を目指します。
- ② 優れた実演芸術作品を継続的に創造・発信し、県内外での認知度を高めます。
- ③ 多種多様な人が劇場に集い、親しまれる劇場を目指します。
- ④ 国内外の良質で多様な公演の鑑賞機会の提供と質の高いサービスを実施します。
- ⑤ 実演芸術により豊かな感性を育み、次世代への継承・発展を図る劇場を目指します。
- ⑥ ファミリー・プログラムを充実させ、ファミリー層の来館を促進します。
- ⑦ 子どもを対象とした事業を積極的に展開し、人材育成・発展の新しい広場を目指します。
- ⑧ アウトリーチを始め各種事業を市町村及び市町村劇場とともに推進します。
- ⑨ 市町村・市町村劇場とともに、広域的な文化振興を図る劇場を目指します。
- ⑩ 県内の市町村・市町村劇場と協働して巡回公演、ワークショップ等の拡大を図ります。
- ⑪ 地域の課題に積極的に応え、地域に貢献する劇場を目指します。
- ⑫ 行政や関係団体と連携しながら、地域のニーズを把握し、課題解決を図ります。
(地域活性化、人口減、子育て支援、教育・多文化共生、福祉、観光 等)

文化芸術事業の基本方針

事業実施にあたっては、「財団の6のミッション」及び上記ビジョンを踏まえ、事業を体系化（STAGE1から3に重層化）して、目的と目標を明確にし、段階的かつ重層的な戦略のもと、県内各市町村・市町村劇場や実演家・文化芸術団体等と連携して、県民の誰もが文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出します。



STAGE 1 出会いを生む文化芸術事業の展開

【目的】

県内市町村や文化芸術団体等と連携協力のもと、これまであまり縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる実演芸術を届けることを目的とした事業を展開します。

【目標】

- ・初めての实演芸術体験機会の創出を狙い、誰でもが鑑賞し、体験できる機会を設けます。
- ・若年層や家族が気軽に参加できる仕掛けを作ります。

STAGE 2 彩を添える文化芸術事業の展開

【目的】

県内市町村や文化芸術団体等と綿密な連携のもと、心地よい実演芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける事業を展開します。

【目標】

- ・県民が多彩な実演芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整えます。
- ・実演芸術をより楽しみ深めるためのアウトリーチ事業を行います。
- ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図ります。

STAGE 3 感動を届ける文化芸術事業の展開

【目的】

基幹ホールの優れた機能とこれまで培ってきた財団の専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加される方々に高質な実演芸術を満たすことにより大きな感動を届けます。

【目標】

- ・県民を魅了する良質な舞台作品の鑑賞機会を提供します。
- ・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品づくりを行います。
- ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図ります。

事業別目的

事業名（指定管理事業）	STAGE 1-3			財団ミッション①-⑥					
	1	2	3	①	②	③	④	⑤	⑥
プロデュース公演 とっとりチェンバーオーケストラ事業		●	●	●	●	●	●		
（令和6年度公演準備）プロデュース公演 新作バレエ「赤毛のアン」			●	●	●	●	●		
（令和7年度公演準備）プロデュース公演 U-18 シアタープロジェクトAct. 3		●			●	●			
MUSIC ENCOUNTER 「とっとりスーパープラス公演／木嶋真優ヴァイオリンコンサート」		●	●	●		●			
実演芸術市町村連携事業	●	●				●	●	●	●
鳥取県青少年郷土芸能の祭典		●				●	●	●	
とっとりの芸術宅配便	●					●	●	●	
事業名（財団事業）	STAGE 1-3			財団ミッション①-⑥					
	1	2	3	①	②	③	④	⑤	⑥
澤和樹&蓼沼恵美子 with プレミアムアーティスト ～チェロの巨匠、アラン・ムニエを迎えて			●	●					
東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」			●	●		●			
大阪フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 倉吉公演			●	●					
二期会オペラ「椿姫」			●	●					
MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演			●	●					
特別共催事業(マスコミ／一般)			●	●					

事業概要

【指定管理事業】

1 プロデュース公演

鳥取県の特徴ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作します。作品の制作過程を通して、出演者・スタッフ等の協働推進者をはじめ、来場者等幅広く県民へ、作品内容やジャンルの魅力を多面的に伝える工夫によって、鳥取県の特徴ある地域文化と文化芸術の魅力を発信します。

さらに、制作した作品の再演等や構築されたネットワークの継続的活用、ノウハウの波及効果を追求します。

また、事業を通して県内活動者の創作に対する意欲を高めることで、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図ります。

(1) TCO とっとりチェンバーオーケストラ事業

鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者及び国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」コンサートを開催します。併せて、各地区のジュニアオーケストラ、県内高校の弦楽部等、若手活動者や若年層を対象とし、とっとりチェンバーオーケストラメンバーを講師としたクリニックを実施し、最終日には、成果発表のステージを設け一般公開します。また、奏者が主体となって企画する公演を支援（会場費補助・広報）し、事業の継続的な発展と合奏団・奏者の理解者・支援者の拡大を図ります。

日程：令和5年11月3日（金・祝）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール ※クリニックは8月予定



【とっとりチェンバーオーケストラ】

(2) <令和6年度公演準備> 新作バレエ「赤毛のアン」

カナダの小説家ルーシー・モード・モンゴメリの長編小説「赤毛のアン」を創作バレエ作品として制作し、アンの成長と彼女がもたらす人と人とのつながりが描かれた作品を新作として上演することで、「挑戦」と「出会い」をテーマに、文化芸術がもたらす心の潤いと豊かな未来の創造へとつなげ、多くの新規鑑賞者に実演芸術の魅力を伝えていくことを目的とします。併せて、課題（財団スタッフのプロデュース力向上、活動者の活性化、次世代育成等）の改善を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。

日程：調整中

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



【バレエ「コペリア」(令和4年)】

(3) <令和7年度公演準備> U-18シアタープロジェクト Act 3

令和7年度開催予定の、鳥取県内の18歳以下が創作した戯曲を同じく県内18歳以下が演じる、新作オリジナル作品の演劇公演の準備年として戯曲創作講座を実施します。過去に取り組んだ演劇創造事業で育成した人材を講師として起用し、地域においてさらなる人材育成と後進の発掘・育成を図り、県内における新たな演劇の発展と発信を目指し、演出指導者として、新国立劇場演劇研修所所長の宮田慶子氏を引き続き起用します。

日程：令和5年6月下旬～令和6年6月（全18回予定）

会場：調整中



【U-18シアタープロジェクトAct2「捨てきれないもの」(令和4年)】

2 県民文化会館30周年記念事業 MUSIC ENCOUNTER「とっとりスーパープラス公演/木嶋真優ヴァイオリンコンサート」

第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞した木嶋真優によるヴァイオリンコンサートを開催することにより、質の高い弦楽器演奏の鑑賞機会を提供し、ファンの拡大、潜在的鑑賞者と新規鑑賞者の開拓を図ります。併せて、これまでのコロナ禍の影響により文化祭やコンクールの中止の影響を受けた、県内で音楽を学ぶ若年層との共演の場を設けて発表の場を提供するとともに、鳥取県を代表する文化の殿堂「梨花ホール」においてプロとして国内外で活躍する鳥取県にゆかりのあるアーティストとの共演を通じて、活動継続の意欲向上と若手アーティスト及び若年層活動者の人材育成を行い、より豊かな感性を育む機会の提供と、観客である地域住民と鑑賞機会を共有し、「県民に愛され誇りとなる劇場づくり」を目指します。

日程：令和5年11月5日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

運営体制：（公財）長谷育英奨学会と共催



【MUSIC ENCOUNTER(令和2年)】

3 実演芸術市町村連携事業

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図ります。また、協働を通じて、事業実施に伴うノウハウを伝えるとともに、文化芸術事業への関心を高めることで、市町村独自の取組の充実に繋がります。

実施回数：4 回程度

会場：県内市町村ホール

運営体制：市町村、各市町教育委員会及び実演団体等と共催



【琴浦町合唱フェスティバル】

4 鳥取県青少年郷土芸能の祭典

地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流を主軸とした青少年による「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」により、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を引き出すことを目指すと共に、地域が一体となって子どもたちを支援する環境づくり、後継者育成、県内青少年郷土芸能団体の活性化、ネットワークづくりを図ることを目的として、本年度は鳥取県主催「第14回とっとり伝統芸能まつり」との共催事業として公演を実施します。

日程：令和5年10月21日（土）または22日（日）※調整中

会場：西部地区の公立施設 ※調整中



【鳥取県青少年郷土芸能の祭典(令和2年)】

5 学校向け事業

(1) とっとりの芸術宅配便

子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会を提供することで、将来の文化芸術の担い手としての鑑賞者、活動者、支援者の拡大、文化芸術の裾野の拡大を図ります。

多感な時期の子どもたちが心豊かで活力ある生活を送るとともに、その無限の可能性を広げるための一助として、県内のアーティストによる生の文化芸術と出会い、触れ合い、さまざまに感じる機会を県内の小中学校・特別支援学校へ届けます。

実施回数：25 回程度

会場：県内小学校、中学校、特別支援学校

運営体制：各市町教育委員会と共催



(2) 芸術鑑賞教室

高等学校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催します。文化施設及び学校体育館等において優れた舞台芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的とします。併せて青少年の文化芸術に対する関心を高めることで、将来的な文化芸術ファンの開拓に繋げ、本県のさらなる文化振興を図ります。

実施回数：10 回程度

会場：県内高校、特別支援学校

運営体制：鳥取県教育委員会と共催



【鳥の劇場「イワンのバカ」】

【財団事業】

1 鑑賞型事業

(1) 澤和樹&蓼沼恵美子 with プレミアムアーティスト ～チェロの巨匠、アラン・ムニエを迎えて

深い音楽性と美しい音色を兼ね備え円熟を極めるハーモニーで評価の高い、澤和樹と蓼沼恵美子のデュオに、フランスチェロ界の重鎮アラン・ムニエを迎えたトリオコンサートを開催することにより、質の高い室内楽の演奏機会を提供し、ファンの拡大、潜在的鑑賞者と新規鑑賞者の開拓を図ります。併せて、質の高い実演芸術の公演が少ない地域で開催することにより、地域住民への芸術鑑賞の普及に取り組みます。

日程：令和5年5月20日（土）

会場：境港市文化ホール



(2) 東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」

本公演は4歳から入場でき、子どもにも分かりやすく構成された内容のため、未就学児童や小学校低学年の親子の興味関心を惹くことで、バレエに興味を持ち、バレエをはじめのきっかけ作りの創出と、新規鑑賞者の拡大を図ります。また、同じく若年層がターゲットとなるプロデュース公演「新作・創作バレエ」の関連企画として位置付け、ワークショップを開催し横断的な事業展開とすることで、年間を通して継続的に高質な実演芸術への参加体験・鑑賞機会を提供します。

日程：令和5年8月6日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



(3) 大阪フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 倉吉公演

平成2年度に開催した公演が好評であり、地方では体感する機会の少ない新春に相応しいプログラムによる「大阪フィルハーモニー交響楽団 ハッピーニューイヤーコンサート」を実施します。鳥取県中部地区では鑑賞する機会の少ないプロの大型オーケストラによる新春にふさわしい楽曲の公演であることを大きくPRし新規鑑賞者の開拓を図ります。

日程：令和6年1月13日（土）

会場：倉吉未来中心 大ホール



(4) 二期会オペラ「椿姫」

国内最大のオペラ・声楽家団体である東京二期会によるヴェルディ作曲「椿姫」を上演することにより、県民に質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供し、オペラの新規鑑賞者の開拓ならびに、潜在的鑑賞者の掘り起こしを行い、支援者となる文化芸術関心層の拡大を図ります。昨年度実施した「フィガロの結婚」に続き、「王道オペラ」とも評された絢爛豪華な舞台で新規鑑賞者の開拓、オペラファンのさらなる拡大・定着を図るほか、梨花ホールの音楽ホールとしての魅力を積極的に発信することで、県民文化会館のさらなる理解者・利用者の拡大を目指します。

日程：令和6年1月14日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール



(5) 県民文化会館30周年記念事業 MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演

藩政時代から豊かな伝統文化が育まれている石川県、鳥取藩時代から能楽が広く普及していた鳥取県、両県に見られる共通性をきっかけとした共同制作公演とし、オーケストラ・アンサンブル金沢とのコラボレーションによる、和洋の文化を融合させた野村萬斎による創造的なオリジナル企画を創作上演します。野村萬斎が能狂言の手法を活かし、和洋融合の新しい作品をオーケストラに乗せて発信・開花させ、鳥取県では鑑賞する機会の少ない斬新な公演・楽曲を劇場間の連携を活かして制作・提供し、地域のアイデンティティを継承していくとともに、共同制作による劇場間の制作・運営・広報ノウハウ等の向上・発信力強化を目指します。



日程：令和6年3月3日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

(6) 特別共催事業

ア 報道機関（マスコミ）共催

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにもより優れた舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要であるため、民間機関が実施する公共性の高い優れた鑑賞事業に対し、当財団が共催することで県民の鑑賞機会を増やすことを目的とします。

実施回数：9回程度

会場：県内ホール

運営体制：報道機関（マスコミ）が本主催者



【劇団四季 ロットンガガーデン(令和4年)】

イ 一般共催

一般団体（芸術団体・文化芸術関連NPO団体など）が実施する優れた鑑賞公演について当財団が共催することで、財団のミッションにある「団体の自主的な活動の支援」として、県民に優れた文化芸術公演を多く提供し、鑑賞機会を増やすことを目的とします。

実施回数：6回程度

会場：県内ホール

運営体制：一般団体が本主催者



【Alto de Campagne(令和4年)】

公1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

当財団は、文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、この目的を達成するために、「文化芸術事業の基本方針」に掲げる重要項目・事業体系を踏まえて、その実現のための各種取り組みを実践し、文化芸術事業を推進する。

また、「管理運営業務の基本方針」に掲げる重要項目及び上記を踏まえつつ、文化振興を図る拠点施設である鳥取県立県民文化会館の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供する。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定を締結の上、これを遵守していく。

1 文化芸術の振興と創造・発信事業

県民が良質の舞台芸術に触れ、感動し、豊かな心を育むことを目的に、国内外の質の高い舞台公演の提供や、市町村との連携によるその地元施設での演奏会の実施、次代を担う若者の育成と文化芸術への参画の強化、鳥取県出身・在住のプロのアーティストを起用した事業など、これまで文化芸術にあまり縁の薄かった方々へのアプローチなど、多彩かつ広域に「ひと」と「まち」が元気になる事業を展開する。

また、鳥取県の特徴ある地域文化を基に、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作することにより、鳥取県の特徴ある地域文化と文化芸術の魅力を発信する。

(1) 鑑賞公演の提供

ア 財団主催事業

STAGE3

【予算額 55,664 千円】

	事業名（公演名）	開催時期	開催場所	目標入場者数
1	澤和樹&蓼沼恵美子 with プレミアムアーティスト ～チェロの巨匠、アラン・ムニエを迎えて	5月20日(土)	境港市文化ホール	320人
2	東京バレエ団 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	8月6日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	750人
3	大阪フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 倉吉公演	1月13日(土)	倉吉未来中心 大ホール	800人
4	二期会オペラ「椿姫」	1月14日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,000人
5	県民文化会館30周年記念事業 MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演	3月3日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	900人
5事業5公演（東部3公演、中部1公演、西部1公演）				3,770人

イ 特別共催事業

STAGE3

【予算額 2,957 千円】

(ア) マスコミ共催 年9公演程度

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにもより優れた舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要であるため、民間機関が実施する公共性の高い優れた鑑賞事業に対し、当財団が共催することで県民の鑑賞機会を増やすことを目的とします。

(イ) 一般共催 年6公演程度

一般団体（芸術団体・文化芸術関連NPO団体など）が実施する優れた鑑賞公演について当財団が共催することで、財団のミッションの一部でもある「団体の自主的な活動の支援」として、県民に優れた文化芸術公演を多く提供し、鑑賞機会を増やすことを目的とします。

(2) プロデュース公演（指定管理事業）

【予算額 12,639 千円】

鳥取県の特徴ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作します。作品の制作過程を通して、出演者・スタッフ等の協働推進者をはじめ、来場者等幅広く県民へ、作品内容やジャンルの魅力を多面的に伝える工夫によって、鳥取県の特徴ある地域文化と文化芸術の魅力を発信します。

さらに、制作した作品の再演等や構築されたネットワークの継続的活用、ノウハウの波及効果を追求します。
また、事業を通して県内活動者の創作に対する意欲を高めることで、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図ります。

ア TCO とっとりチェンバーオーケストラ事業

STAGE 2

STAGE 3

鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者及び国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」コンサートを開催します。併せて、各地区のジュニアオーケストラ、県内高校の弦楽部等、若手活動者や若年層を対象とし、とっとりチェンバーオーケストラメンバーを講師としたクリニックを実施し、最終日には、成果発表のステージを設け一般公開します。また、奏者が主体となって企画する公演を支援（会場費補助・広報）し、事業の継続的な発展と合奏団・奏者の理解者・支援者の拡大を図ります。

日程：令和5年11月3日（金・祝）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール ※クリニックは8月予定

イ <令和6年度公演準備> 新作バレエ「赤毛のアン」

STAGE 3

カナダの小説家ルーシー・モード・モンゴメリの長編小説「赤毛のアン」を創作バレエ作品として制作し、アンの成長と彼女がもたらす人と人とのつながりが描かれた作品を新作として上演することで、「挑戦」と「出会い」をテーマに、文化芸術がもたらす心の潤いと豊かな未来の創造へとつなげ、多くの新規鑑賞者に実演芸術の魅力を伝えていくことを目的とします。

併せて、課題（財団スタッフのプロデュース力向上、活動者の活性化、次世代育成等）の改善を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組みます。

日程：調整中

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

ウ <令和7年度公演準備> U-18シアタープロジェクト Act 3

STAGE 2

令和7年度開催予定の、鳥取県内の18歳以下が創作した戯曲を同じく県内18歳以下が演じる、新作オリジナル作品の演劇公演の準備年として戯曲創作講座を実施します。過去に取り組んだ演劇創造事業で育成した人材を講師として起用し、地域においてさらなる人材育成と後進の発掘・育成を図り、県内における新たな演劇の発展と発信を目指し、演出指導者として、新国立劇場演劇研修所所長の宮田慶子氏を引き続き起用します。

日程：令和5年6月下旬～令和6年6月（全18回予定）

会場：調整中

(3) 芸術鑑賞教室（県補助事業：芸術鑑賞教室開催事業）

STAGE 1

【予算額 10,000 千円】

鳥取県からの補助金を受け、高等学校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催します。文化施設及び学校体育館等において優れた舞台芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的とします。併せて青少年の文化芸術に対する関心を高めることで、将来的な文化芸術ファンの開拓に繋げ、本県のさらなる文化振興を図るため、芸術鑑賞教室の開催のための事務・事業の適正かつ円滑な運営を行います。

実施回数：10回程度

会場：県内高校、特別支援学校

運営体制：鳥取県教育委員会と共催

(4) 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業の実施

【予算額 8,442 千円】

鳥取県からの基金造成事業補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるため、文化芸術事業の経費等へ充当し事業を実施します。

ア 鑑賞事業及び事業実施に係る共通経費

事業名（公演名）	開催時期	開催場所
澤和樹&蓼沼恵美子 with プレミアムアーティスト ～チェロの巨匠、アラン・ムニエを迎えて	5月20日（土）	境港市文化ホール
東京バレエ団 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	8月6日（日）	とりぎん文化会館 梨花ホール
大阪フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 倉吉公演	1月13日（土）	倉吉未来中心 大ホール

二期会オペラ「椿姫」	1月14日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール
県民文化会館30周年記念事業 MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演	3月3日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール
共通経費(広告費等)	通年	—

2 文化芸術活動支援及び人材育成事業

鳥取県の未来を担う若手活動者や若年層に対するプロデュース公演や鑑賞事業と連携したワークショップ等の継続的な実施による会館を拠点とした文化芸術のコミュニティの構築と、子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会の提供による将来の文化芸術の担い手としての裾野の拡大のほか、若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と連携して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、潜在的鑑賞者の掘り起こしと支援者の拡大を図ります。

また、地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流による技術向上と意識啓発、古典芸能の体験事業を通じ、古典を身近に触れることのできる機会を提供し、日本古来の伝統的な芸能の継承と発展を図ります。

(1) 次世代育成事業(指定管理事業)

ア 県民文化会館30周年記念事業

STAGE 2

STAGE 3

MUSIC ENCOUNTER「とっとりスーパープラス公演/木嶋真優ヴァイオリンコンサート」【予算額 7,312千円】

第8回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞した木嶋真優によるヴァイオリンコンサートを開催することにより、質の高い弦楽器演奏の鑑賞機会を提供し、ファンの拡大、潜在的鑑賞者と新規鑑賞者の開拓を図ります。併せて、これまでのコロナ禍の影響により文化祭やコンクールの中止の影響を受けた、県内で音楽を学ぶ若年層との共演の場を設けて発表の場を提供するとともに、鳥取県を代表する文化の殿堂「梨花ホール」においてプロとして国内外で活躍する鳥取県にゆかりあるアーティストとの共演を通じて、活動継続の意欲向上と若手アーティスト及び若年層活動者の人材育成を行い、より豊かな感性を育む機会の提供と、観客である地域住民と鑑賞機会を共有し、「県民に愛され誇りとなる劇場づくり」を目指します。

日程：令和5年11月5日(日)

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

運営体制：(公財)長谷育英奨学会と共催

イ 実演芸術市町村連携事業

STAGE 1

STAGE 2

【予算額 1,910千円】

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図ります。また、協働を通じて、事業実施に伴うノウハウを伝えるとともに、文化芸術事業への関心を高めることで、市町村独自の取組の充実に繋がります。

実施回数：4回程度

会場：県内市町村ホール

運営体制：市町村、各市町教育委員会及び実演団体等と共催

ウ とっとりの芸術宅配便

STAGE 1

【予算額 2,608千円】

子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、または経済的な理由いかんにかかわらず、誰もが芸術に触れ、気軽に楽しむことができる鑑賞や体験の機会を提供することで、将来の文化芸術の担い手としての鑑賞者、活動者、支援者の拡大、文化芸術の裾野の拡大を図ります。

多感な時期の子どもたちが心豊かで活力ある生活を送るとともに、その無限の可能性を広げるための一助として、県内のアーティストによる生の文化芸術と出会い、触れ合い、さまざまに感じる機会を県内の小中学校・特別支援学校へ届けます。

実施回数：25回程度

会場：県内小学校、中学校、特別支援学校

運営体制：各市町教育委員会と共催

(2) 伝承・継承事業（指定管理事業）

鳥取県青少年郷土芸能の祭典

STAGE 2

【予算額 3,465 千円】

地域に根づく郷土芸能の伝承・発信・交流を主軸とした青少年による「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」により、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を引き出すことを目指すと共に、地域が一体となって子どもたちを支援する環境づくり、後継者育成、県内青少年郷土芸能団体の活性化、ネットワークづくりを図ることを目的として、本年度は鳥取県主催「第14回とっとり伝統芸能まつり」との共催事業として公演を実施します。

日程：令和5年10月21日（土）または22日（日）※調整中

会場：西部地区の公立施設 ※調整中

(3) とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第21回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2023）

【予算額 28,358 千円】

鳥取県からの補助金を受け、「とりアート事業」の円滑な運営を行いながら、「県内の文化芸術活動の裾野拡大」「頂点の伸長」「人材育成」の目的達成に向けて、県民の皆様とともに取り組んでいます。

令和5年度以降においても、実行委員会事務局及び東部地区・中部地区・西部地区委員会事務局運営を行い、財団職員がアートマネージャーや委員の後見役となり、アートマネジメントの手法を伝播させ、地域の文化芸術の活性化や交流の輪を広げていきます。

3 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業（指定管理事業） 【予算額 341,860 千円（収1-1を含む。）】

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立県民文化会館の設置及び管理に関する条例及び鳥取県と締結した協定に基づき、施設の管理運営を行います。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、賑わいの創出に向けた事業、教育機関との連携事業を実施します。

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：60.0%見込み）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 地域の賑わい創出事業（予算額 3,765 千円）

STAGE 1

まちづくりや、地域活性化を進めていくには、行政、周辺施設、地域の住民等多数の関係者の連携と協力が必要不可欠です。会館は、第3期に構築した多様なネットワークと敷地内施設との協働を通して、文化施設としての特性を活かした事業に取り組みます。また県からの補助事業「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」も今まで以上に参加者、文化活動者が積極的に参加できる環境を整え、各種事業により会館周辺地域がますます活性化されるように事業展開したいと考えています。

ア けんぶんファミリープログラム「“夢”ひろがる“空間”～ようこそ劇場へ！～」

(ア) とりぎん文化会館 ホール探検ツアー 年1回

ホールや舞台芸術への関心・意欲の醸成を図ることを目的として、親子や若年層を対象としたホール探検ツアーを実施し、普段は見ることや立ち入ることの出来ない各種の舞台装置や機材の操作体験、会館や舞台芸術を下支えする裏方スタッフの役割などの解説等を行います。

(イ) みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート 年1回

舞台芸術への関心や意欲を向上することを目的として、会館が保有している3種のグランドピアノを活用してそれぞれの特色や魅力を感じる参加・体験型の事業を実施し、専門家による説明に加えミニコンサートを行い、生の舞台芸術に触れる機会を設けます。

(ウ) アートSQUARE夢空間 年3回程度

会館が地域にとって身近で親しみやすい施設となることを目的とし、施設の特性を活かしながら誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくため、県民文化会館イベントホール等を利用し、気軽に様々なジャンルを鑑賞できる場の提供をするとともに、親子で気軽に参加・鑑賞ができるワークショップ形式の鑑賞できる小規模公演等を実施します。

イ 文化交流広場「Art Salon (アートサロン)」 年1回程度

財団協賛パートナー企業と連携・協働し、文化芸術による支援者同士の交流が生まれる機会を創出するとともに、会館周辺の施設等と連携・協働し、人が集うことを目的に実施します。

- ・財団支援者等との実演芸術交流
- ・図書館、公文書館、県民文化会館他事業との連携企画（カフェ施設コンサート等）

(3) 教育機関連携事業（予算額 382 千円）

STAGE 1

とりぎん文化会館「舞台技術研修会（舞台技術支援）」年3回程度

舞台芸術や文化芸術活動に取り組んでいる県内の大学生や高校生を対象に、教育機関と連携を図りながら、舞台技術に関する研修会（講義及び実習）や舞台設備の見学会等を開催します。

(4) その他

ア (公社)全国公立文化施設協会中四国支部委員館

鳥取県の代表館として、支部委員会（年3回）、研修会（業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会）、調査・研究のための部会（経営環境部会、事業環境部会、特別部会）に関する事など、各支部委員館と連携して適正かつ円滑に運営します。

【参考】令和2年2月から県民文化会館館長が（公社）全国公立文化施設協会の副会長に就任。

イ 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局事務）

総会の開催、研修会（事業・運営研修会、施設・技術研修会）の開催など、ネットワークの充実と人材育成に関する事など、各加盟館と連携して適正かつ円滑に運営します。

公2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民に広く文化活動や交流の場を提供及び県民の自主的な活動を支援するとともに、人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため、鳥取県から指定管理を受け、鳥取県立倉吉未来中心の設置等に関する条例及び鳥取県と締結する協定等に基づき、施設の管理運営を行う。

また、管理運営とともに、財団独自に各種文化事業等を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、地域に根差した事業を実施する。

1 人と人との交流、地域活性化事業（倉吉未来中心の管理運営事業：指定管理事業）

【予算額 256,37 千円（収 1-2 を含む。）】

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：55.0%見込み）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関する事
- (イ) 利用の許可に関する事
- (ウ) 利用者の応接に関する事
- (エ) 管理状況の報告に関する事

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関する事
- (イ) 利用料の収納及び還付に関する事
- (ウ) 利用状況の報告に関する事

(2) 未来つながるプロジェクト（予算額 4,083 千円）

STAGE 1

「人と人との交流促進及び地域の活性化」という倉吉未来中心の設置目的を達成するため、会館の自主事業として『未来つながるプロジェクト』に取り組みます。このプロジェクトでは、文化芸術、特に実演芸術の持つ力や管理施設の特徴を活かし、アーティストや活動者、中部地区1市4町、様々な団体や機関とともに心豊かな「ひとづくり」と活力ある「まちづくり」を目指します。

ア ハッピースマイルコンサート（インリーチ・アウトリーチ）年7回程度

倉吉未来中心プロデュースによる、乳幼児から鑑賞・参加可能なコンサートや実演芸術体験ワークショップをインリーチ・アウトリーチの両面で開催し、子どもたちの文化芸術体験の充実を図ります。

イ みらい楽演祭 年2回程度

開放的なアトリウムでのミニコンサートや、優れた特性を持つ小ホールでのコンサートなど、施設の特徴を活かしながら、年齢を問わず気軽に実演芸術に触れられる機会の創出を図ります。

ウ 施設体験ツアー「ホールたんけんツアー」年1回、「ホールたんけんツアーミニ(仮)」年3回程度

普段は見ることの出来ないホールの裏側の見学や、舞台機器の操作体験などを通じて、ホールの魅力やそこで働く職員の仕事を体験します。

エ 舞台技術ワークショップ 年4回

「舞台」「音響」「照明」などの舞台技術に関する基礎知識の習得を目的とする講座やワークショップを行い、地域の実演芸術を支える人材の育成を目指します。

収1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業（公益目的事業以外）

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通じた人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供する。

- 1 鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：40.0%見込み
- 2 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：45.0%見込み

法人の管理運営

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行う。 【予算額 4,735千円】

- 1 資産の管理に関すること
- 2 評議員会に関すること
- 3 理事会に関すること
- 4 事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること
- 5 人事管理、給与関係事務に関すること
- 6 会計経理及び契約に関すること
- 7 関係機関との連絡調整に関すること
- 8 人材育成に関すること
- 9 その他、財団の事務処理に関すること